

3) 農村の活性化に対する支援

①鳥獣害対策の推進

対象：管内全域

1. 概要とねらい

管内では近年、イノシシやシカ、サルなどによる農作物被害が問題となっている。特に中山間地域では獣害による耕作放棄地化や、営農意欲の低下が見られ、さらなる耕作放棄地の拡大が懸念されている。

しかし、原因を調査すると、集落内では人間から見たらエサではないものでも、野生鳥獣からみるとエサになるものが多くあり、集落住民が鳥獣のエサ場化にしている事に気づいていない。また、鳥獣の生態や効果的な侵入防止柵などの知識も不足しているため、無意味な被害防止対策を行っていることも問題である。

そこで、侵入防止柵で多く実施されている電気柵の調査を行い、問題点の抽出後に獣害対策パンフレットを作成・講習会を開催することで、集落で効果的な獣害対策を行う基礎づくりを図る。

2. 活動内容

1) 電気柵の調査

奈良市田原地区で導入されている電気柵（平成19年現在、延長59.3km）のうち、約半分について問題点の調査を実施した。

2) 獣害対策パンフレットの作成

今回調査した電気柵設置の問題点及び各鳥獣の生態、集落全体で取り組む獣害対策の順序、獣種に応じた柵の設置方法についてパンフレットの作成を行った。

3) 獣害対策講習会

管内の認定農業者参加のもと、獣害対策講習会を行った。

3. 成果

1) 電気柵の調査

- ・今回の調査で、ガイシの向きや通電しない場所に設置するなど、防止効果のない柵が多いことがわかった。

2) 獣害対策パンフレットの作成

- ・右図のように「獣害対策の手引き」（全24ページ）を作成した。

3) 獣害対策講習会

- ・天理市認定農業者を対象に獣害対策講演会を行った。



4. 今後の展開方向

- 1) 今回制作したパンフレットを使い、集落ぐるみでの獣害対策を進めていく。

5. 協力機関名

北部地域農業推進協議会・天理市農林課